

小規模企業景気動向調査 [2022年8月期調査]

～業種で異なる需要格差、慢性的なコスト増による採算悪化に苦しむ小規模企業景況～

<産業全体> 業種で異なる需要格差、慢性的なコスト増による採算悪化に苦しむ小規模企業景況

8月期の産業全体の業況は、コロナ第7波の急拡大により売上額DIが2期連続で小幅に悪化、採算・資金繰り・業況DIが小幅な改善となった。一方で、業種によって売上額DIの改善と悪化がみられ、格差が生じている。原材料の仕入れごとに価格が変動し、受注の都度、売上原価の再計算を行う事務作業の時間が増加、とのコメントも目立ち、少しずつ間接部門にも原材料価格高騰の影響が出始めている。一段と進行する円安等による原油・原材料の高騰で、産業全体の採算は低水準で推移し、厳しい経営環境・経営状況が続いている。

	DI	7月	8月	前月比
売上額	▲100	▲110	▲10	
採算	▲514	▲479	35	
資金繰り	▲400	▲371	29	
業況	▲385	▲346	39	

<製造業> 一部で価格転嫁が進み好調であるも、慢性的な採算悪化に苦しむ製造業

製造業は、売上額・資金繰りDIが小幅に悪化、採算DIがわずかに悪化、業況DIがわずかに改善となった。食料品関連は、原材料高騰により採算DIが低水準で推移しているが、行動制限のない盆休みで稼働率が上がった、とのコメントがあった。繊維関連は、円安による輸入原材料高騰の影響が大きく、採算DIが直近1年間で、最大の悪化幅を示した。機械・金属関連は、3期連続で採算DIが改善。価格転嫁が進んでいる、とのコメントがあった。

	DI	7月	8月	前月比
売上額	▲56	▲82	▲26	
採算	▲548	▲554	▲06	
資金繰り	▲406	▲432	▲26	
業況	▲408	▲407	01	

<建設業> 災害関連等の需要増による業況改善に転じるが、先行き不透明感の残る建設業

建設業は、売上額・採算DIが小幅に改善、資金繰り・業況DIが大幅な改善に転じた。先月に引き続き、堅調な官公需や民間工事の受注に加え、8月に発生した大雨による災害復旧需要の増加が顕著に見られた。一方で、価格転嫁対策が追い付かないことによる採算悪化、人手不足による納期遅れが発生するなど、引き続き深刻な状況。材料が高騰し続け正確な見積りができない、売上は増えるが利益が増えないとのコメントが目立った。

	DI	7月	8月	前月比
売上額	▲102	▲82	20	
採算	▲602	▲564	38	
資金繰り	▲486	▲431	55	
業況	▲421	▲356	65	

<小売業> 商品の値上げ、感染症の急拡大等による、売上の悪化に苦しむ小売業

小売業は、売上DIが大幅に悪化、採算DIがわずかに改善、資金繰りDIが小幅に改善、業況DIが小幅に悪化した。食料品関連は売上額DIが大幅に悪化。値上げによる顧客の買い控えが顕著、とのコメントがあった。衣料品関連は10pt超の大幅悪化。売上の減少する時期に、コロナによる来店客減少の影響が重なった。耐久消費財関連は、エアコン特需が落ち着き、売上DIが大幅に悪化。半導体不足による供給不足も大きく影を落とす結果となった。

	DI	7月	8月	前月比
売上額	▲120	▲197	▲77	
採算	▲503	▲499	04	
資金繰り	▲400	▲389	11	
業況	▲406	▲424	▲18	

<サービス業> 行動制限のない盆休みで活況を取り戻すも、感染急拡大の影響に苦しむサービス業

サービス業は、売上DIが小幅に改善、採算・資金繰り・業況DIが10pt超と大幅に改善した。旅館関連は、先月の大幅悪化から一転、全DIで10pt超の大幅改善。行動制限のない盆休みにより、活況を取り戻した結果となった。クリーニング関連は、原油高騰による採算の悪化と改善を繰り返しており、安定しない。理・美容は、全DIで改善傾向が続き、安定している。一方、事業者本人がコロナに感染し休業を余儀なくされる、とのコメントがあった。

	DI	7月	8月	前月比
売上額	▲123	▲81	42	
採算	▲402	▲300	102	
資金繰り	▲308	▲230	78	
業況	▲305	▲194	111	

調査概要

・調査対象:全国約300商工会の経営指導員

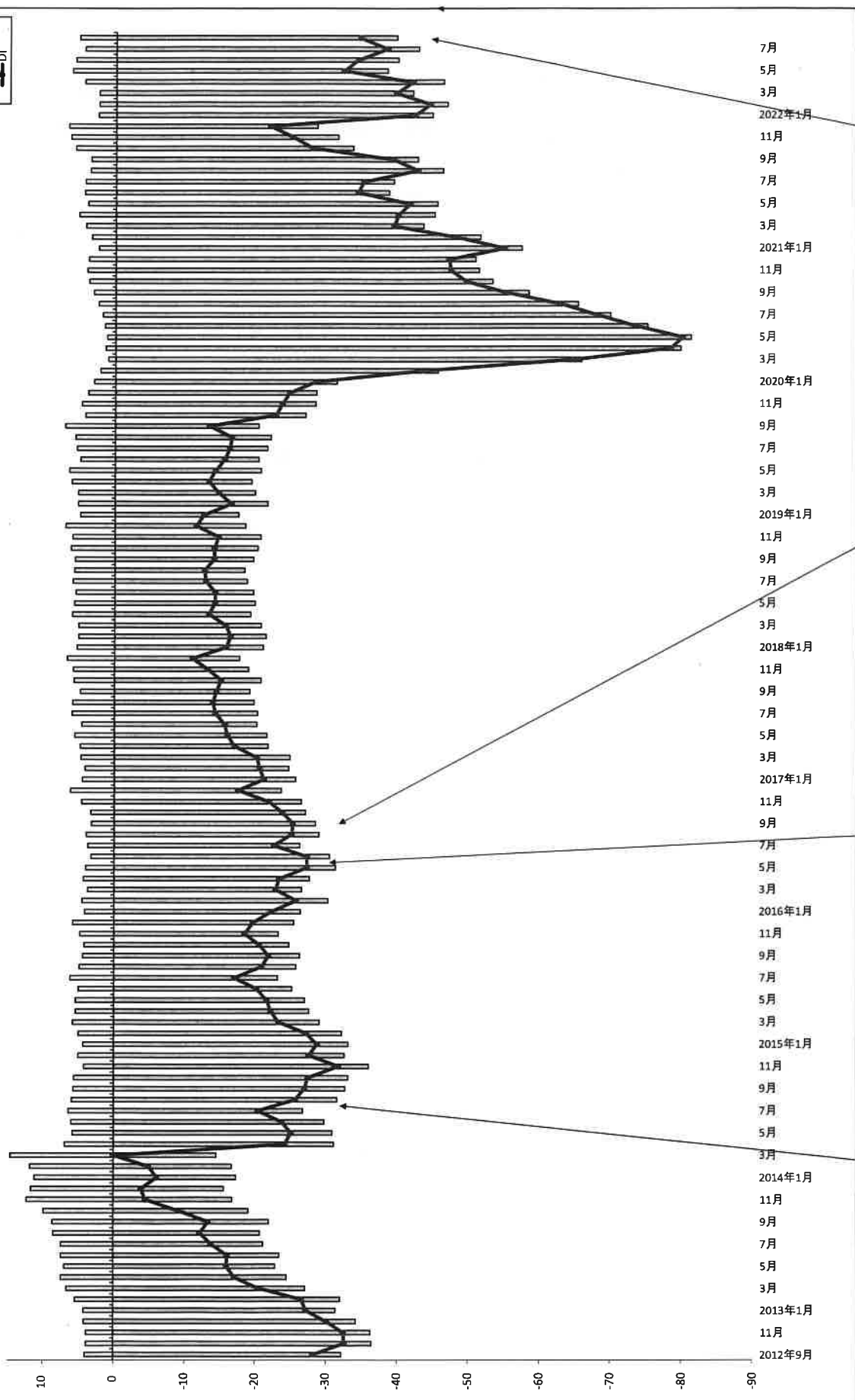
・調査時点:2022年8月末

・調査方法:対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

※DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

小規模企業景気動向調査(月次)
産業全体の業況…過去10年のトレンド…

□悪化
□好転
—DI



7月
5月
3月
2022年1月
11月
9月
7月
5月
3月
2021年1月
11月
9月
7月
5月
3月
2020年1月
11月
9月
7月
5月
3月
2019年1月
11月
9月
7月
5月
3月
2018年1月
11月
9月
7月
5月
3月
2017年1月
11月
9月
7月
5月
3月
2016年1月
11月
9月
7月
5月
3月
2015年1月
11月
9月
7月
5月
3月
2014年1月
11月
9月
7月
5月
3月
2014年9月

22年8月
(-34.6)

16年4月
熊本地震

16年2月16日
日銀マイナス金利導入
(-25.8)

14年4月
消費税率8%に引上げ
(-24.2)